

## 「施策」総括票

施策展開	5-(6)-ア	県民生活を支える人材の育成	
施策	②介護・福祉人材の育成		387頁
対応する主な課題	少子高齢化の進行や、地域における相互扶助機能が低下傾向にある中、福祉サービスの多様化や利用者の増加に対応した質の高い福祉介護サービスを提供できる人材や、地域で支え合う体制の再構築が急務となっている。		
関係部等	福祉保健部		

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
1	福祉・介護人材育成基盤整備事業	58,627	順調	○社会福祉事業従事者に対し、業務に必要な知識や専門技術に関する研修を、業種別、階層別に全26回実施した。(2)  ○介護支援専門員を対象に実務従事者基礎研修、専門研修課程(I・II)等の研修を全11回実施した。(3)  ○訪問介護事業の中心となるサービス提供責任者を対象とした「訪問介護適正実施研修」及び現任の訪問介護員等に対する「テーマ別技術向上研修」を延べ250人に対し、実施した。(4)
2	福祉人材研修センター事業	63,412	順調	
3	介護支援専門員資質向上事業	16,125	順調	
4	訪問介護員資質向上推進事業	2,324	順調	
5	介護サービス事業者指導・支援事業	7,812	順調	
6	コミュニティソーシャルワークの推進	13,270	順調	

### II 成果指標の達成状況 (Do)

#### (1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	介護支援専門員養成数	4,735人 (23年)	5,010人 (24年)	5,885人	275人	545,801人 (23年)
	状況説明	平成24年度は、介護支援専門員実務研修受講者数が275人増加し、H28目標値達成に向け、順調な推移となった。今後も受講者数の増員に資するよう取り組んでいく。				

## 様式2(施策)

### (2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

### Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

- ・訪問介護員資質向上推進事業におけるテーマ別研修については、毎年同じ研修内容であることから、受講者数が減少してきており、受講者のニーズに応じた研修内容等の検討が必要である。
- ・認知症介護実践者研修については、本島のみでの開催であったが、地域で支え合う体制の構築を図ることに加え、受講者増加及び受講者負担の軽減を図るためにも、離島地域も含め全県的に広げる必要がある。

### Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

- ・高齢化や病院の在院日数の短縮により、在宅で暮らす医療の必要性の高い要介護者は増加することが見込まれる。

### Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

- ・訪問介護員資質向上推進事業におけるテーマ別研修は基礎的研修として引き続き実施していくとともに、次の段階として訪問介護事業の中心となるサービス提供責任者を対象とした研修を展開し、受講者の拡大や資質向上を支援する。
- ・受講者増加及び受講者負担軽減等を目的に、先島での研修開催を検討し、県内全域での人材育成に繋げる。
- ・今後、医療の必要性が高い介護サービスの利用者や認知症高齢者の増加が見込まれる中で、介護支援専門員の医療関係職種との連携が重要となるため、研修カリキュラムにおいて、「認知症」、「リハビリテーション」、「看護」、「福祉用具」等の科目を必修化して、研修内容の充実を図る。